

放課後子ども教室【千代田区】

活動場所	学校内	学校外
	○	—
開催日数	243日／年間	
参加人数	63人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	○
学習活動の特徴	自主学習	学習プログラム
	○	○
学童クラブとの連携	一体型	連携型
	○	—

■主な活動場所

校庭、体育館、図書室、家庭科室、ランチルームほか

■開催日

土・日・祝日を除く月曜日～金曜日

学校休業日、長期休業日も1日実施（8校中3校）

■参加対象

各小学校在籍の全児童

■申込み手続き

申込み不要。参加カード、名簿にて下校管理。

活動紹介

＊千代田区放課後子ども教室は「学び」「遊び」「体験」の3本柱で実施している。

「学び」…毎日の宿題対応のほか、持参教材への自学自習の場として専任指導員が見守り、質問対応をしている。子どもたちが自力で答えにたどり着けるようサポートしている。オンライン授業普及に伴い、タブレット使用を含めた対応をしている。また、各校独自の学習プリントを使用するなど、子どもたちの興味、関心を引く内容で実施している。

「遊び」…放課後の学校施設を有効に活用し、専任指導員見守りのもと、校庭、体育館などで自主的に体を動かして遊ぶ場所を提供している。工作やゲーム、昔遊びなど子どもたちが主体的に参加できるプログラムも実施している。室内で静かに遊んで過ごす時間もあり、トランプなどのカードゲームやボードゲーム、ぬりえなど楽しんでいる。また、下校時間の管理など子どもたちが安全に過ごせるよう徹底している。

「体験」…学校ごとに調整し、その内容について毎回更新。専門の知識と技術を持つ講師を呼んで指導してもらうことで、子どもたちがさまざまな経験をできる機会となっている。内容は、囲碁、ドッチビー、ミニバス、ダンス、スイミング、一輪車など多岐にわたる。保護者、地域ボランティア協力のもと、区、学校、PTA、地域が一体となった取り組みになっている。

コーディネーターや地域の方々などの参加について

- 採用・募集 コーディネーター（行政職員） 有償ボランティア（保護者、地域の方々）
- 配置人数 コーディネーター（2名） 有償ボランティア（各校必要に応じて）
- 運営体制 小学校ごとに校長、副校長、区、民生児童委員、青少年委員、PTA 役員、有償ボランティアと年1回運営について報告、次年度について協議している。

千代田区の取組

- 全教室数 全8小学校8教室
- 事業目的 放課後の学校施設を活用し、子どもたちの安全・安心な居場所（学び・遊び・体験の場）を確保し、次世代を担う児童の健全育成を支援する。
- 事業の成果等 学校との情報共有など連携を図り、実施場所の確保や実施内容の幅を広げている。各学校子どもたちの参加が増えており、放課後の子どもたちの居場所として確かなものとなってきている。